

王安石（1021—1086）の新法

神宗の時、宰相となり、政治改革せんと欲し、青苗・水利・均輸・保甲・募役・市易・保馬・方田・均税・等の諸新法を興したが、物議沸騰し、時の名臣に斥けられて、効無し。罷めて鎮南軍節度使となる。

～詩文を能くし、唐宋八大家の一。元祐元年卒す。歳68。

其の経を解するや、先儒の伝法に拠らず、極めて斬新の説をなし、号して**新義**という。

著に「周官新義」・「臨川集」・「唐百家詩選」がある。（大漢和）